



友愛の丘通信

UAゼンセン中央教育センター
友愛の丘通信 第 26 号
(2018年4月1日発行)
発行責任者：近藤 三千代
編集人：阿部 亜紀

「檄」はPOWERの起爆剤

学びの心が一層高まる

友愛の丘恒例の「檄」紹介



「檄」それは、各組合から研修生へ対して、奮起を促すための応援メッセージです。

組合を代表し委員長、執行委員、支部の仲間たちなど色々な方たちから届きます。

檄には、研修生へ対する期待が込められており、友愛の丘で学んでてもらいたい事や、体験してもらいたいことなど、それぞれの組合色をだしながら、工夫を凝らしています。

この「檄」は、研修の合間を利用して、紹介手渡しをしていきます。「檄」を受ける研修生は、全員の研修生の前で、担当トレーナーから「檄文」を読み上げられ、励ましを受けます。

組合からの熱い思いに研修生の気持ちも高まり一層前向きに研修に臨んでいます。

実際に研修生にあてた「檄」

(左) 全エンチャー労組 (中) スーパーアルプス労組、(右) UAゼンセン岩手県支部運営評議会一同

「檄」の中には、寄せ書き風や、似顔絵入り、ミッション入りなどもあります。また、ブルゾンちえみをまねてといった要望や、替え歌を歌ってなどの要望があると、担当トレーナーはPCで調べたり、モノマネの練習をしたりと大奮闘しています。

「檄」を手にした研修生の声

檄を手にした研修生は、「もらえると思っていたので、うれしい。」「組合員の期待にこたえられるように、この後もしっかりがんばろうと思う。」「組合の代表としてはずかしくない言動をとっていきたい。」と力強く思いを語って



担当トレーナーから「檄」紹介



「檄」を受け取りニコニコ顔

れました。逆に檄が届かない研修生は、「届かない・・・。檄知らないのかも。」と淋しく思う人も。

研修生の、成長を願う派遣者のみなさん。組合から、ぜひとも愛のこもった「檄」をよろしく願います。



手渡しされ思わず笑みがこぼれます

檄は郵送、メール、FAXでお受けします。仲間からの応援は研修生の励みとなります。研修生を送り出すみなさん、ぜひ！「檄」をお願いいたします。

住所 〒700- 岡山県岡山市北区建部町福渡1188
FAX：086-722-2051 E-MAIL：yuai@yuainooka.jp

春を迎える準備

一段ときれいになりました

友愛の丘施設は、約6万坪ある広大な敷地です。

施設の中には、松岡花壇、高山花壇、滝田花壇、赤松庭があります。先輩たちに思いをはせる場所、また研修の合間に和む場所として作られ、四季折々にきれいな花を咲かせています。

憩いの場所にある草木は管理部門の人たちによって整備され、一段ときれいになりました。



松の剪定。高所作業中



慣れた手つきで木を切ります



赤松庭には見頃な花梅（ハナウメ）が



職員総出の落ち葉かき

「数は力」 みんなでやれば、あっという間

友愛の丘では職員総出での全体作業があります。2月24日（土）は全員で落ち葉かきを行いました。

キャンプ場の落ち葉は、足を入れたらくるぶしまで隠れてしまうほどの深さになっており、おびただしい量です。

この落ち葉を、熊手でかき集め、袋詰めに。落ち葉の集め方、袋のつめ方もちょっとした工夫があります。そして、袋詰めした落ち葉は、寝かせて腐葉土にします。友愛の丘では、枯れ葉も畑の肥料に使うなど有効活用しています。

相当量の落ち葉でしたが、「数は力」職員総出によって、あっという間に終了しました。



落ち葉は大きな布に入れ運びます



たくさん落ち葉が入るように
しっかり踏み込みます

友愛の丘 歳時記



～春の訪れ～

良い香りの臘梅（ロウバイ）



レンギョウも色鮮やかに



可愛らしい
雪柳「キヤナギ」



しだれ桜もキレイ



顔だした土筆（ツクシ）



気品あふれる梅の花



宿舎4号棟近くに木蓮（モクレン）



ふたりのうつろ
ふたりのうつろ



サンシュユはグラウンド南側



センターの桜も開花宣言



土佐水木（トサミズキ）も木蓮横に

編集後記 岡山に来て2度目の冬でした。寒さも「もう慣れたかな」と思いきや、朝一番は手先が動かず。寒さに慣れないのでしょうか…。春の訪れが待ち遠しい毎日です。（犬四郎）